

平成30年度 第2回渋谷区自立支援協議会「計画部会報告資料」

- 福祉計画部会メンバー（順不同、敬称略） _____ 下線は、協議会委員
高橋、栗野、浦野（部会長）、大日方、堀口、本田、板沢、菅原、村松
長塚（副部会長） <区スタッフ：原、五十川、小内、石井>

- スケジュール

年4回開催 ①7月25日 ②9月 ③11月 ④1月

- 部会の活動内容

障害福祉推進計画の進捗状況の確認と検討
今年度の協議会テーマ「切れ目のない支援」の具体化

- 部会からの報告と提案

- ①切れ目のない支援に関する検討

合理的配慮の義務化※に対する協議会としての対応について

※「東京都障害者への理解促進及び差別解消の推進に関する条例」（H30.10.1施行予定）より

- 現状における支援やサービスの切れ目や不足
 - ①事業者等への情報提供の仕組みがない
 - ②課題や問題があった場合の対応や、調整機能の整理
- 上記状況に関する改善提案
 - 好事例を収集し事業所等に伝える仕組み作り
 - 既存の区の相談窓口の活用、各部署で対応した事例の集約
 - 上記活動をまず実施することで、障害者差別解消地域協議会設置につなげていく

- ②障害福祉推進計画と各部会等の議論の関連付け

各部会で検討している内容や切れ目に関する事例収集について、推進計画との関係性を整理しておく必要がある（→進捗状況管理の方法に関する提案）

- ③次回以降の部会での検討課題

バリアフリー
地域で暮らす（地域生活支援拠点）
保健医療（精神保健分野） 等